



市長からの手紙

39 今後の財政状況

今年度の予算については既に市の広報等でお知らせしてありますが、市の財政状況について、私からできるだけ分かりやすくお伝えします(数字は億円未満切り捨てです)。

今年度の一般会計予算は1,120億円で、川越市としては初めて当初予算が1,100億円を超えました。主な理由は、川越駅西口の県との共同事業で進めている「ふれあい拠点施設」の工事代金等の支払いが、77億円あることによるものです。

歳入(収入)は、市民税、固定資産税、都市計画税等の市税収入が49.2%、国庫支出金・県支出金(国や県の負担金・補助金)が13.5%、市債(借金)が13.5%です。他に地方交付税、地方消費税交付金(消費税等8%のうち地方に分配されるもの)等があります。

市債については金額にして、昨年度の約1.5倍の151億円を計上しています。うち71億円は「ふれあい拠点施設」の建設費に充てるためのものですから、単年度市債額は、来年度は減少する見込みです。

歳出(支出)については、人件費(退職手当を含む)、扶助費(生活保護、高齢者、障害者、児童福祉等に係る費用)、公債費(借金の返済)のいわゆる義務的経費が51%を占めており、現状で市税収入より多くなっています。

今後市税収入は、景気の動向にもよりますが、人口が減る中で減少すると考えられます。一方、高齢者の数は今後15~20年は増え続ける見込みですので、扶助費は増加すると予測されます。また、公債費については、今年度は98億円です。市の平成25年度中期財政計画で設定した市債額どおりに借り入れた場合、同29年度には110億円を超え、公債費負担比率は15%を上回る見込みのため、注意が必要であると考えています。

市債発行をコントロールする(借金をできるだけ増やさない)とともに定住人口を増やすことにより税収の増加につなげるなど、具体的な対策を検討しています。

川越市長 川合善明

未来に向けて④

市民とともにある社会資本の実現

政策企画課 224-5503

高度経済成長期以降に集中して整備された公共施設や道路、橋りょうなど(以下「社会資本」)の老朽化が全国で一斉に進んでいます。これに加え、十分でない維持管理などが原因で天井の落下や道路の陥没などの事故が発生しています。

今後は少子高齢化や人口減少が進み、税収の伸びが期待できない一方、医療、年金、福祉などの社会保障費の増大が予測され、社会資本を安全に使い続けるための修繕や更新にかけられる費用は大きく制約されます。こうした状況に対応するため、国は昨年11月に社会資本の戦略的な維持管理・更新等を推進するため、「インフラ長寿命化基本計画」を策定しました。

市では、平成24年4月に公共施設マネジメント担当を設置し、同25年3月に「川越市公共施設マネジメント白書」を作成するなど公共施設の現状分析を行ってきました。

今年度は、専門的な知見を有している東洋大学と協力し、社会資本の有効活用や効果的な整備更新方法について、皆さんからご意見をいただきながら検討を進めていきます。

*「川越市公共施設マネジメント白書」は、市ホームページのほか、政策企画課(本庁舎4階)、図書館、市民センター、南連絡所などで確認できます。また、政策企画課にて1部1,000円で販売しています。





業者を呼ぶほどではないけれど、誰かがちょっと手伝えてくれれば助かることはありませんか？
 そんな、ちょっとしたお手伝いでまちを元気にするサービスを行っているのが、震ヶ関北自治会の「かほくお手伝いサービス」です。



今回のお手伝いは草取り

このサービスの仕組みは、登録をした利用者が角栄商店街の一角にある事務局で「お手伝い券」を購入し、家の片付け、調理、病院への付き添いなどのお手伝いを申請します。続いて、事務局がサポートスタッフに依頼をします。スタッフは「お手伝い券」を提供すると、利用者から「お手伝い券」で支払いを受けます。「お手伝い券」は、事務局で「お買い物券」に交換し、地元のお店で「お買い物」ができるというものです。

「お手伝い」を通じて、地域住民が助け合うこと、また地域で「お買い物」をすることにより、地域を活性化しているのが、このサービスの長特です。

現在、利用者・スタッフを合わせて、300人程の会員が登録をしています。より多くの人に、このサービスを知ってもらい、明るく元気で、豊かな生活ができるまちにしたいと活動に励んでいます。

市民とともにつくる

安全で安心なまち川越

防災危機管理課 ☎224-5554

台風・豪雨・竜巻から身を守る

夏から秋にかけては、台風、局地的な豪雨、竜巻等が発生しやすい時期です。今回は自然災害から身を守るポイントを紹介します。

情報を収集する

テレビ、ラジオ、またはパソコンなどを使ってインターネットから、台風の予想進路や天気予報、竜巻注意情報など、最新の気象情報を入力しましょう。また、「急に真つ黒な雲が近づいてきた」「雷の

音が聞こえてきた」「急に冷たい風が吹いてきた」など、周囲の状況変化に気を付けることも大切です。

早めに備える



風雨が強くなるようだったら、不要不急の外出は避けましょう。雨戸を閉める、飛ばされそうなものは家の中に取り込むなど、家まわりの点検をし、悪天候になる前に準備を整えることが大切です。

自然災害をなくすことはできませんが、皆さんのちょっとした心掛けで、被害を減らすことができます。

ゴミ処理とぴつくす

違法・悪質な

不用品回収業者に「ご注意を！」

資源循環推進課 ☎239-6267

「ポストに『不用品を無料で引き取ります』とチラシが入っていたが、利用しても大丈夫か？」という問い合わせがよくあります。また、同じ内容をアナウンスするトラックが市内を回るケースも多くみられます。こういった業者の中には、無料回収をうたいながら積み込んだ後で高額な料金を請求する、回収品を不法投棄・不正輸出するなど、悪質なものが存在します。

家庭から廃棄物を回収するには、市の許可が必要です。許可業者はチラシを配ったり、アナウンスをしながら回収を行ったりすることはありません。

また、テレビ・エアコン・冷蔵庫・洗濯機などは、家電リサイクル法で処分方法が決められています。詳しくは「家庭ごみの分け方・出し方」に掲載していますので、ご確認ください。

トラブルや不適正な処分を避けるには、一人ひとりがルールを知り、正しく処分を行うことが大切です。皆さんのご協力をお願いします。

